



# Creating the Future season III

## ～ 未来をつくる ～

喜多方東高校  
進路だより

第6号

2020.9.30

### 就職試験に向けて本格的に始動！—3年生

#### ●まずは履歴書作成

10月2日の出願書類発送に向けて、今月は履歴書作成の月でした。履歴書は、企業に自己アピールする最初のもので企業が好印象を抱いてくれるかどうかを左右する重要な書類です。履歴書用紙は、右図のようにA4版横書きで記入欄もそれほど多くはなく、さほど時間をかけずに完成させられると思うのですが、実際に取り組んでみるとそんなにたやすいことではないと気づきます。特に「志望の動機」欄は、文字通りその企業をなぜ受験するのかを具体的かつ簡潔に記さなければなりません。罫線が引かれていないので、自分で罫線を引くところから始めます。住所欄もふりがなをふることを考慮し、文字の大きさを考えなくてはなりません。資格欄や趣味・特技欄、校内外の諸活動欄も記入する内容に合わせて罫線を引き記入します。

履歴書 <全道高等学校統一用紙> (2020年度用紙)

氏名: \_\_\_\_\_ 住所: \_\_\_\_\_ 電話番号: \_\_\_\_\_

学校名: \_\_\_\_\_

志望の動機: \_\_\_\_\_

資格欄: \_\_\_\_\_

趣味・特技欄: \_\_\_\_\_

校内外の諸活動欄: \_\_\_\_\_

下書き用紙に鉛筆書きで書いて担任の先生に添削してもらいますが、なかなかOKがもらえず10回以上書き直したという人もいます。下書きの清書にOKが出て清書用紙に下書きをし、これが大丈夫であれば、いよいよ清書になります。ペン書きですから鉛筆書きを注意深くなぞって間違わないように仕上げます。一か所でも間違ったり字がかすれたりしたら書き直しになります。慣れないペン書きに悪戦苦闘し精魂尽き果ててしまった人もいましたが、履歴書作成は就職試験の第一歩。これからが本番です。

#### ●面接指導

10月6、7日に模擬面接指導担当者との打ち合わせがあります。受験先の企業について説明できるようにする、想定される質問の答えをきちんと用意するなど各自入念に準備して臨むようにしてください。先生方が多忙な中時間を割いてくださっていることを忘れずに。就職試験解禁まで10日しかありません。当然ですが服装・髪型は受験当日の状態です。制服にしわがよっていない、お辞儀をした時に髪が顔にかからない、爪が短く切りそろえてある等々細心の注意をはらうこと。

# 新大学入試制度①—学校推薦型選抜

今年度から大学入試が新たな制度によって実施されます。1、2年生の皆さんも新入試で受験することになりますので、今から内容を理解し対策をする必要があります。今回は本校の先輩達の多くが利用してきた「学校推薦型選抜(推薦入試)」について記します。

## ●名称と合格発表時期の変更

従来の「一般入試」が「一般選抜」、「推薦入試」が「学校推薦型選抜」、「AO入試」が「総合型選抜」と名称変更されます。また、出願時期は11月と従来通りですが合格発表時期が「12月以降」と変更になります。

## ●学校推薦型選抜の特徴

学校推薦型選抜は従来の推薦入試であり、公募制と指定校の2種類があることは変わっていません。どちらも推薦条件として大学指定の評定平均値が設けられている点も同様です。しかし、新入試では①「知識・技能」②「思考力・判断力・表現力」③「主体的に学習に取り組む態度等」という「学力の三要素」を評価することが求められ、高校3年間における三要素の実績記載の「推薦書」と各大学独自の評価方法(小論文・口頭試問・プレゼンテーション・教科に関わるテスト等)の実施が必須とされています。

## ●1、2年生の皆さんが心がけること

### ①定期考査に全力で取り組む

2学期中間考査が終了しましたが結果はどうでしたか？上記の評定平均値に直結するのは定期考査の点数です。学校推薦型選抜を希望する人は1、2学期末の評定と3年1学期の評定が大学指定の評定平均値を上回っていなければ受験できません。先輩達の中には0.1足りなくて涙をのんだ人もいます。「後悔先に立たず」です。

### ②部活動やボランティア活動に全力で取り組む

「学力の三要素」の③は学習面だけではなく、部活動をはじめとする諸活動への主体的な取り組みと継続を指しています。特に部活動は重視されるものです。

## 第1回進路ガイダンス実施—2年生



9月7日(月)5・6校時に等身大(株)代表取締役の内藤紗弥花(MITA)さんをお招きし「夢を叶える等身大!講座」という演題で講演いただきました。どの内容も肯げましたが、進路に関して「情報があれば可能性が変わる。体験が一番のネタになる。」とおっしゃっていて大変共感しました。生徒の皆さんも「前向きに頑張っていこうと思った。」「やりたいことを精一杯やっっていこうと決めた。」と感想を述べていました。